

令和4年度第1回狭山市上下水道事業審議会会議録

開催日時	令和4年7月12日（火） 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	入曽地域交流センター 2階 小ホール
出席者	岩田会長、久保田副会長、橋委員、水田委員、天野委員、五十子委員、大野委員、清水委員、滝口委員、中山委員、新居委員、目代委員、持田委員
欠席者	無し
事務局	池内上下水道部長、金子上下水道部次長（下水道施設課長兼務） 経 営 課：諸口課長、篠原主幹、小川主幹、小坂主査、柚原主任 前田主事、村木主事 水道施設課：内山課長、高橋主幹、後藤主幹、尾崎主幹、石井主幹 下水道施設課：市川主幹、荻野主幹、渡邊主幹
傍聴者	1名
報道関係者	無し
議 事	（1）令和3年度狭山市水道事業会計の決算概要について、資料をもとに説明。（公開）
質 疑 委 員	施設改良工事設計業務委託について、令和5年度以降の施工場所はどこか。
事務局	笹井配水場耐震改修等工事を予定している。令和3年度に基本設計を実施し、費用の概算や施工法等の基本方針は検討済である。令和4年度に実施設計を行い、令和5年度以降に施工する予定となっている。
委 員	減債積立金は、企業債の償還に充てているのか。
事務局	償還金額を上限に企業債の償還に充てている。
委 員	年2回実施している災害対策訓練は市民が参加することは可能か。
事務局	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、一昨年から市民の方々をお呼びできていない状況である。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、自治会単位でのお呼びかけを検討する。
委 員	前年度繰越利益剰余金は、その他未処分利益剰余金変動額の中に含まれているのか。
事務局	その他未処分利益剰余金変動額には、前年度の減債積立金を取り崩した額が計上されている。

委員 前年度繰越利益剰余金は、当年度純利益を全額議会の議決により処分を行ったため、0円と表示されているのか。

事務局 お見込のとおり。

委員 愛知県の工業用水や農業用水の取水設備が漏水して甚大な被害が発生した。狭山市は9割以上を県水から取水しており、取水設備は県の管轄で、狭山市の管轄外であることは想像できる。同様の事故が起こらないよう埼玉県と自治体とで設備維持管理の情報共有をしているのか。

事務局 県水の取水施設につきましては、県の管轄となるため、狭山市では管理を行っていないが、常に情報共有を行っている。

委員 耐震化率や老朽管の更新率についての情報は把握しているのか。

事務局 取水施設については把握していないが、送水管については把握している。

委員 狭山市に水管橋はあるのか。また、どのように点検しているのか。

事務局 単独での大規模な水管橋はない。今までは台風の前後や川の増水の際などの年数回程度目視点検を実施していたが、和歌山市での水管橋破損事故を受け、令和4年度より業務委託を行い、点検を実施する予定。

委員 経営戦略計画上、令和3年度に水道料金の改定を予定しているが、これからの水道事業経営の見通しについて検討されているか。

事務局 経営戦略計画上、令和3年度に純損益が赤字になるとの予測であったため、水道料金の改定を予定していたが、令和2年度、令和3年度に純利益が出ているため、現状では水道料金の改定は必要ないと認識している。しかし、水需要の減少や県水受水費単価の改定等の状況を見て、安定的に水道事業経営を継続するために、将来的には水道料金の改定が必要であると考えている。

委員 消火栓等修繕について、消火栓は消防の管轄であると認識しているが、狭山市が負担しているのか。

事務局 消火栓等修繕については狭山市で実施している。修繕にかかった費用については消防に請求をしている。

- 委員 料金回収率が100%以上になるのはなぜか。
- 事務局 供給単価を給水原価で除した数字となっているため、100%以上となっている。
- 委員 有収率が92.88%と非常に良い数値である。また、配管の洗管作業を計画性をもって実施しているというが、7.12%のうち、どのくらいの割合が洗管作業で使われているのか。
- 事務局 資料がないため詳細は不明であるが、洗管作業で使用した水量が7.12%の中に含まれている。洗管作業で使用した水量を毎月報告しているため、報告結果を集計すれば割合を算出できる。
- 委員 首都圏直下型地震が30年で70%の確率で起こるというデータもあるが、避難民に対する水の備えはあるのか
- 事務局 最初の3日間は1人1日3L、4日から10日間は1人1日20L必要であり、10日間分までの水は浄配水場、緊急貯水槽、小中学校の受水槽等で確保できている。
- 議 事 (2) 令和3年度狭山市下水道事業会計の決算概要について資料をもとに説明。(公開)
- 質 疑
委員 企業債残高対事業規模比率が類似団体や全国平均よりも低い数値となっているのは、減債積立金で企業債を償還している割合が高いからなのか。
- 事務局 割合が高いかは不明であるが、多く償還しているため、企業債残高対事業規模比率が低くなっている。
- 委員 他の事業体と比較し、経営状態は良い状態といえるのか。
- 事務局 一般会計繰入金がないと厳しい状況ではあるが、利益は出ているため、悪くはない状態である。
- 委員 現在は、一般会計繰入金ありきでの利益となっているが、一般会計繰入金は今後もらえる保証はあるのか。また、市長部局との協議は行っているのか。
- 事務局 現在の経営戦略では、一定金額をもらえるという想定で市長部局とは協議している。

委員 市長部局も厳しい状況ではあると思いますが、長期的計画をもって市長部局と協議してください。

委員 一般会計からの繰入基準の作成を検討すべきでは。

事務局 国からの一般会計繰入基準は定められているが、一部、基準が定められておらず、市長部局と協議して決定している。

委員 雨天時浸入水対策計画策定業務委託を実施した効果は素晴らしいと思うが、発生源対策の計画は策定されたのか。

事務局 本業務委託については、20年かけて雨天時浸入水を減らすためにシミュレーションを行い、費用を把握する計画を策定したものである。具体的な雨天時浸入水対策としては、老朽化しているところを把握しているため、この計画にとらわれず実施していく。

議 事 (3)その他 狭山市公共下水道整備の進捗について資料をもとに説明。(公開)

質 疑 無し

その他質疑

委員 上下水道ともに県と市で管轄が分かれている。水源から蛇口までは一体的な経営がなされてる方が良いと考える。県と市の行政がそれぞれ独自で動いていることも考えられる。県と市の情報交換や勉強会等の場を設け、実施してほしい。

委員 今年の夏は節水に気を付ける等のことはしなくても問題ないか。

事務局 現状では、利根川水系、荒川水系共に、ダムの貯水量90%以上あるため問題はない。

委員 審議会資料について、用紙がもったいない部分が見られるので、次回以降工夫してほしい。

他に質疑はなく、会議は全て終了となる。